

「二十歳を祝うつどい」に1369人



上越市の「二十歳を祝うつどい」が5日、リージョンプラザで行われました。参加対象者は2004年4月2日から翌年の4月1日までに生まれた人たちですが、当日はそのうちの約7割、1369人が参加しました。

オープニングでは、最近大きな話題となっている上越高校のダンス部が、見事な踊りを披露してくれました。先日、「LOVEダン」で優勝したこともあり、大きな拍手を浴びていました。

式典では中川幹太市長と渡辺隆市議会議長がお祝いの挨拶に立ち、「これまで育ててくれた皆さんやふるさとに感謝し、未来に向けて歩んでください」と激励しました。

新成人を代表して、徳光志穂さん、松矢陽生さん、宮川李奈さんが「家族は友達のような存在、家族に感謝している」「ふるさと上越は私の誇り」などとのべていました。3人とも堂々とした決意表明でした。

イラストは上越高校ダンス部の踊りと決意表明した3人です。



市内小中学校で入学式

市内の小中学校で今年度の入学式がこのほど行われました。私は8日、地元の市立吉川小学校と市立吉川中学校の入学式に招かれ、参加させていただきました。

このうち吉川小学校では、11名が入学しました。下のイラストはその1年生です。

校長の長谷川和彦先生は、お祝いの言葉の中で、「吉川小学校は楽しく、ワクワクする学校です」「おはよう、ありがとうございます、などの挨拶は人と仲良くなる魔法の言葉です。自分から挨拶をしましょう」と新入生に訴えていました。

児童代表として歓迎の言葉を述べた谷内櫻子さんは元気に、「吉川小学校は笑顔溢

れる楽しい学校です。がんばりましょう」とのべていました。

吉川中学校は20名の入学でした。校長の櫻井直人先生は、心から歓迎すると前置きしたうえで、「あなた方、一人ひとりを社会は必要としています。あなた方の将来の可能性は無限大です。命、健康を大切にしてください。コミュニケーションをしっかりとっていきいき笑顔の学校を一緒につくっていきましょう」と呼びかけました。

新入生を代表して太田千尋さんが、「喜びと希望でいっぱい。みんなと協力して、楽しく、充実した中学校生活をしていきたい」と決意を表明しました。



【ホトケノザ】（再掲）シソ科の一年草あるいは越年草。漢字で、「仏の座」と書きます。先日、リージョンプラザの石の階段のところで出会いました。どこでもありそうな花ですが、10数年間会いませんでした。花期は3月から6月。薄紫色の花を咲かせます。花言葉は、「調和」「仲間と一緒に」など。4月5日、撮影しました。



はしづめ法一の活動レポート

No.2199 2025.4.13

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八四六回

春普請

私の地元町内会の今年の春普請は四月六日でした。この時期、日が照らないと寒くてたいへんですが、幸い、この日は晴れてくれました。寒いどころか、少し動いただけで汗がにじんできました。

この日の仕事のスタートは土嚢(どこの)作りからでした。土嚢は農道や水路などで穴やひび割れがあるところを補修するために使うものです。建設業者に頼んでダンプで運んでもらった赤べとを袋に入れて百二十個作りました。一緒に買った若い人が高齢の私に気をつかい、スコップで土を袋に入れてくれました。私は袋の口を開け、適量になったら袋をひもでしばり、軽トラのそばまで運ぶ仕事でした。

私のそばには、春普請に初めて参加したベトナム出身のHさんがたまたまいました。日頃からわが家のすぐそばの畑で仕事をしていた、「働き者だなあ」と感心していた女性です。彼女は春普請でも作業には意欲的でした。私が土を入れ終わった袋を脇に持ち出すと、「(ヒモを)どうやってしばりますか」などと訊いてきました。作業のやり方はすぐに覚えて、テキパキこなすのでびっくりしました。

土嚢づくりが終わってからは「江さらい」です。昨年の農作業が終わって冬になるなかで草や木の葉が用水路に落ちていきます。上流から水と共に運ばれてきた砂や泥も溜まっています。これらをスコップを使って用水路から外へ出す、それが主な作業内容です。

この日は農協の倉庫近くから集落内を通り、三角形の小さな池に至るまで約五百坪の「江さらい」をしました。水路の深さは八〇センチほどありますので、水路の中を下りたり、上がったたりするだけでもたいへんでした。場所によっては、簡単に上がることでできなく、人の手を借りたくなる場所もありました。

スコップで水の中のかたくなった砂や泥をすくい、外に出す作業は日頃、肉体労働をしていない私のような人間にはきつかったですね。「江さらい」でも近くで作業をしていたHさんが、私の作業ぶりを見て、「は・し・づ・め・さん、ゆっくりやってください」と声をかけてくれました。

確かに作業はきつかったのですが、そのなかでリラックスできることがいくつかありました。

その一つは作業をしている付近で見かける植物です。それらの中でも見ごろを迎えている野の花が最高でした。薄紫や白の花を咲かせているシヨウジョウバカマ、白いオクチヨウジザクラ、紫色のスミシシなどは見ているだけで身も心も休まりました。

ミスナラの木の下では、大量のドングリが落ちていました。それらのなかには、すでに根を出しているものもありました。その根を出しているドングリをHさんに見せ、「これ、ドングリって言うんだよ。ほら、根が出ている」と言うと、子どものような純真さで覗きこんでいました。

もう一つは水の中の生き物です。ドジョウ、ザリガニ、タナゴなどが泥と一緒にスコップに入ることがあります。ザリガニはとても小さく、ひよっとするとエビかも知れないと思うほどでした。これもHさんに見せると、喜んでくれました。

Hさんの名前を何度か呼んでいて気づいたのは、わが家の屋号、「ホーセ」と共通の響きがあるということでした。数十年前にわが家で飼っていたネコの名前は「ニヤン」。これも何となくベトナムのムードがありました。親しみを感じました。

この日の春普請は三時間ほどで終了しました。身体はぐったりでしたが、作業中に初めて外国出身の人と話したことで、今後何かいいことがありそうです。これもコウノトリさんのおかげかも知れません。

コウノトリのペアに2年連続でヒナ誕生

吉川区で昨年から巣を作っているコウノトリのペアに4月3日からヒナが誕生しています。10日現在、ヒナの数は3羽ですが、今後増える可能性もあります。

ヒナは右足のそばに2羽、左足のそばに1羽います。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月2日(水)	4月9日(水)
上越消防署	0.057	0.050
上越南消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.050	0.040
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.057	0.050

坂田池観桜会、今年も賑わう



柿崎区の坂田池観桜会は6日でした。サクラの開花にはまだ早かったですが、子どもから高齢者まで歌や踊りなどを楽しみ、賑わいました。イラストはコミュニティバンド・ピマスの演奏に合わせて踊る人たちです。